

# 有宵会だより

第121号  
発行所  
特定非営利活動法人  
岳易館・有宵会  
編集 広報部  
松戸市新松戸1-6

## 九星と易断による 二・三月の運勢

気学では寅の五黄

二月四日（立春）節入

破

天道

4	9	2
3	5	7
8	1	6

生氣

天道 破

3	8	1
2	4	6
7	9	5

生氣

気学では卯の四緑  
三月五日（啓蟄）節入



## 新年のご挨拶

令和六年の新年を迎え、  
慎んでご祝詞を申し上げます。

NPO法人岳易館・有宵会の方々を始め、各教室の皆さまには、本年のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

例年ですと、元日のお祝いは尊いもので一年の守護を授かるわけですが、その元日、16時10分、石川県能登半島を震源にマグニチュード七・六、最大震度七の大地震が発生しました。その後は地震と津波、甚大な被害を受けている現実の姿が連日の報道により詳細に伝わっております。

石川県、富山県、新潟県の被災地の方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧、復興を祈念申し上げます。  
本会は義援金の協力をいたしたいと思っております。よりよくお願いいたします。

## 一 白水星の人の運勢

二月筮―火山旅九三

三月筮―山地刺六五

寒い二月は諸事春まで待つ。子供の頼みに親は受け、仕事は長引く骨を折る。家族問題対話で理解をする。金銭は辛口、体調は甘口で気分良く。

三月は家庭の用事が多く気が焦る。仕事は良好。金運は動きを少なく抑え、老朽化の問題と交際の面が気遣い。心気に疲労あり。

## 二 黒土星の人の運勢

二月筮―良為山六五

三月筮―風地観上九

二月は慎重運。無理押しはしないで平静さで。仕事と対人関係は謙虚に。誰にでも旧事に触れず噂話と誤解に気をつける。金銭は堅く体調は優しい。

三月は見通し明るく予定をこなす。仕事で実力を表すが独断を避ける。家族愛して幸せを味わう。金員採めるので用心。

## 三 碧木星の人の運勢

二月筮―天山遯上九

三月筮―良為山六四

二月は積極的に未処理を片付ける。中旬に大役果たして慢心せず、交際面で小さな誤解を生じやすい。家族で春の気配を楽しむと体調は快適。

三月は公私共に柔軟方針。強気になると裏目に出やすい。仕事は頂上の忙しさ。家庭は仲良く、感染とストレスを避ける。

## 四 緑木星の人の運勢

二月筮―巽為風九五

三月筮―地火明夷六二

二月は順調に進めるため予定を第一に。安請け合いの苦勞あり。仕事で腕を振るう機会は中旬。私用は延びて気を揉む。金運は安定で生活ペース変わらぬ。

三月は平穏でゆつくり運。雑用多く邪魔事に翻弄。職場や家庭は流れに合わせるのが賢い。利殖法に注目。体調は良い。

## 五 黄土星の人の運勢

二月筮―風水渙六四

三月筮―山風蠱六五

二月も相変わらず多事多用。公私に停滞気味で

気が焦る。思いがけずの朗報が上旬。懸案事項はもう一歩でまとまる。書類手続きの処理と足腰が疲れる。

三月、活気は続く。復調の兆しがあり、見通し明るい。女性は母性愛を強く出す。金銭は不意の消費と心身の疲れを癒す。

## 六 白金星の人の運勢

二月筮―地沢臨初爻

三月筮―沢雷随初九

二月は精気が戻り、向上心があふれる。旧態のままでもよく、新風を起こさず。仕事は奇をてらわず着実さ第一に。我が家に欲あり心静まる。小金は動く。足腰鍛える。

三月は一息ついて安心。普段と変わらないが、外出先で油断あり。将来に望む仕事うごめく。金運低調でも交友や健康に恵まれる。

## 七 赤金星の人の運勢

二月筮―山雷頤六四

三月筮―水風井九三

二月は現状維持。変化を求めず平穩に。書類は期限と紛失注意。口の禍いは噂から始まって中旬厳しい。副業話に乗って

みる金運。歯と喉に用心。三月は公私の用事山積みで骨を折る。協力者を得て上手に善処。家庭に難問出るが助言を求めると金運は平凡。健康は平穩。

## 八 白土星の人の運勢

二月筮―水沢節六四

三月筮―水風井九二

二月は日々を大事に過ごす。一日の糧に喜びあり。仕事は真面目さを買われる。私事の相談で善意が仇になる。物質運よく、週末の休養は嬉しい。

三月は紅匂う桜花を堪能。予定の変更や見込み違いに対処。家庭内の故障があれば手当。視力と歯に気をつける。

## 九 紫火星の人の運勢

二月筮―沢雷随初九

三月筮―乾为天九五

二月の寒さはきついが生活に変わりはない。仕事安泰でも欲を出す損する。公私に他山の石から知恵学ぶ。食事の相伴から花開く。体調安泰。三月は出すぎず慎重運。仕事は主役より脇役で喜ばれる。家庭は絆と愛があり。外部への実力発揮は下旬。体調良好。

# 十一月有宵会報告

岩崎紀子先生

十一月二十三日（祝）

足立区勤労福祉会館において、有宵会の定期例会が開催されました。金原玄周先生の司会のもと、福田先生のご挨拶に続き、三名の先生方（菅原有恒先生、八川林加先生、福田有宵先生）からご講演をいただきました。

## 第一部

「清真会と周易」

— 存誠（そんせい） —

有宵会の顧問である菅原有恒先生よりご講演をいただきました。清真会とは、菅原先生が理事長を務める、自詠自書の会（書道の会）です。

以下、菅原先生のお話  
本日は、易がどんなところで使われているか、という例をお話しします。  
清真会は来年七十周年を迎え、機関誌も千八十三号を発行したところで、会では、自分で漢詩

（または短歌・俳句）を作って、自分で書くということをしています。自分の言葉、心を書くということですね。

清真会の屋号は「存誠舎（そんせいしゃ）」といい、清真会を創立された金子清超先生のお宅を存誠舎と称しています。

私はこの金子先生に学生時代から師事しておりました、毎週一回、先生のお宅に通い、漢詩を作るために漢字（四書五経）を勉強しました。その中に易経もありました。それが今でも生きていて、今日このように皆さんにお話しできる訳です。物事は何事も人生にプラスになるものですね。

金子先生の部屋には「存誠銘」と書かれた三十二文字の漢詩の扁額が飾ってあり、これは金子先生の師である山田齊齋先生から昭和二十四年に贈られたものです。

「存誠銘」  
閑邪存誠 大哉易理  
道藝不二 道進乎技  
防之閑之 不閑何存  
存存閑閑 化化之門

閑邪存誠 大哉易理  
道藝不二 道進乎技  
防之閑之 不閑何存  
存存閑閑 化化之門

邪を閑（ふせ）いで誠を存す

大いなる哉 易の理

道は技よりも進む

之を防ぎ之を閑ぎ

閑がずんば何ぞ存せん

存し存し閑ぎ閑ぐは

化々の門

### 【解説】

◎閑邪存誠 大哉易理

「存誠」とは、周易の十翼の一つ文言伝の「乾の九二」の中にある語句「閑邪存誠（かんじやそんせい）」からきており、意味は、「邪を閑（ふせ）いで誠を存す」です。

乾の九二は「龍の田に見（あらわ）れる也、邪を閑（防に同じ）いで誠を存す、其の徳博（ひろ）くして化す。」です。

これは、「地に潜んでいた龍が世に現れた。邪な気持ちを制御して、常に誠実であろうと心がけている。世のため人のために尽して、それを誇らうとする気持ちが微塵もない。このような人物であるから、その人徳に多くの人が感化されるので

ある」ということです。乾の卦は、潜んでいた龍がやっと地上に現れ、天に向かって登っていくというものです。九五の龍（山田先生）を師匠として学んでいた九二の龍（金子先生）が地に潜んでいるところから頭を出した。

金子先生は、銘を贈られた三年後の平成二十七年に清真会を創立しますが、丁度、地上に出た龍を、師匠は金子先生と見て、乾の九二の言葉を選んで贈られたのでしょう。また私は、乾の九二について、九二の師である九五とは、自分以外の人すべては師であり、学ぶべきところがあると思っています。

また、道（目標）が先であり、それに応じて技を磨いていく。皆さんの場合は易の道ですが、易を何の為に行うか。自分の為でもあり、何より人の幸せの為にありますね。その為にどう技を磨いていくかを考えると良いと思います。

◎防之閑之 不閑何存  
「之」とは邪を表す。「存」とは存在を表す。邪を防ぎ、また、防がなければ誠が存在することができない。また、誠に至ることができない。で

以上、お話ししたように、金子先生が戦後の混乱の中、新しい実践を模索されている状況下で、師である山田先生から、

は、邪とは何か。それは、名誉や資格のことであり、これにこだわらないこと。

強調のために同じ言葉をと二つ重ねるのは漢語の特徴です。とことん誠を存在させるにはとことん邪を防ぎ、それでこそ徳をもって感化させ、存誠の門に入ることができる。

◎道藝不二 道進乎技  
道とは行くべき道筋であり、藝（書）の道に勉めなさいということ。



乾の九二の句を贈られたというところが、時期を得て妙であると思います。「存誠」は会を作るにあたって示唆を受けた言葉であり、易が書の世界でも生きていくという例でした。

◎書について思うこと

私は八千代市に住んでいます。毎年、市の展覧会があり、今年はおうちわに字を書こうという事で、私は「明るく 楽しく 生きる」と書きました。

清真会では、上野公園内の東京都美術館で定期的に展覧会を行っています。書は、①詩を作る楽しみ ②書を書く楽しみ ③会場に来場される方に楽しんでもらえること。

そこで多くの方と交流し、これも楽しみです。楽しくあれば生きること、希望が持てます。この事を、うちに書きました。

今、書道をする人が少なくなっています。現在は楽しい趣味が沢山ありますから、書を皆さんにどう楽しんでもらうか、模索する日々です。

◎道号について

金子先生は周易に興味をお持ちで、ご自分で筮竹を作り、使っておられました。弟子の道号にも私のように周易から選んで授与されていました。

道号とは、自分の人生の糧となるものです。私の道号「有恒」は、易の風火家人の象伝からきています。

「言有レ物 而行有レ恒」とあり、「言に物有り、而して行に恒あり」です。論語にもありますね。

「難有恒」とあり、「恒有り難し」です。言は口であり、言葉に発すること。物は実物。物事を発言することで、それは実際の物として認められる。発言する際は誤解を生まないように言葉を選ぶことです。

恒は恒星というように動きはいつも同じ。自分の正しい行いは変えないこと。変わらない行いは信頼につながる。物は信頼の上に成り立っています。自分の行いは、時に誤ったものもあるが、良いものも悪いものも含め、自分であり、良いところを生かしていくことが良いと思います。また、

それが、皆さんがお客様さんに易を役立てる際に重要なことだと思います。

第二部

「おみくじで占う」

有宵会の理事及び事務局長である八川林加先生よりご講演をいただきました。以下、八川先生のお話

◎おみくじとの縁

私がおみくじに興味を持ったのは、有宵会で浅草にある鷺在山・長國寺様に一の酉のお参りしたことがきっかけです。

その折に、引いたおみくじを福田先生に鑑定いただいたところ、「職場で右隣に座っている人物に問題があります。」と、あまりにも的確に現実を示した内容であったことに感動し、自分でもおみくじを研究し始めました。

平成十五年の事で、毎年欠かさずお参りし、今年で二十年を迎えます。私は、福田先生より教えていただいたおみくじ

を、占法の一つに加えられるかという思いで日々実践しています。

◎社寺のおみくじ

歴史的な背景として、明治以前の神仏習合時代には、神社も元三大師御籤を用いていることがありました。これは比叡山におられた元三大師がはじめられた漢詩で書かれた御籤です。

その後、明治の神仏判然令（神仏分離）以降、神社では「歌占（うたうら）」とよばれる和歌や短歌形式によるおみくじが主流になりました。神様のお告げは歌に示され、歌に本来、吉凶はありませんが、現在では吉凶を載せています。

社寺共通して、おみくじに易の要素がみられる場合がありますが、当時の日本の儒家は、宋から渡ってきた易経を教養の書としていました。易経を学んだ儒家がおみくじに易の要素を取り入れたという説もあります。また、元三大師御籤は宋で作られた天竺靈籤が基になっており、その中には易経の教えが組み込まれています。

まれています。

易がおみくじに取り入れられ、様々な解釈により各社寺で独自に発展していったと考えられています。また、易とは関係なく、社寺によって個性豊かな形式のおみくじがあり、優劣はないと思っています。

◎神社の歌占について

日本で神様が詠んだ最古の和歌を「存じですか？」「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣造る その八重垣を」これは素盞鳴尊が櫛稲田姫を妻に迎え新居を建てた際に、その喜びを詠んだ歌です。

（参考文献…「神話のおへそ」『日本書記編』神社本庁監修） また、歌占では神様がそのお気持ちを表した歌を引いた場合は吉占と言った説で解釈している研究者もおり、また、神様が「我（われ・わが）」という言葉を使っている場合も同様です。

◎鑑定のポイント

1. 誰が引いたか。

(1) 自分で引いた場合は、自分の身の回りの狭い範囲の内容が示される。(2) 社寺の方が引いた場合は、個人が知りたい内容だけでなく、自分をとりまく環境や家族を含めた全般の啓示がある。

2. 社寺のご祭神・宗旨

ご祭神等の組み合わせで見ると、例えば「祭神がフアミリーで、複数の場合は家族に関する象意が出る、宇迦之御魂神（稲の神）なら食や金銭面に関する象意が出る」という場合があります。

3. おみくじの吉凶

どのくじを引いても、その中には吉凶両方が含まれます。全体は吉だけれども、気を付けなければいけないポイントを凶で示される、またはその逆もあると思っています。

◎神社のみくじと人物

女子道社をご存じですか？日本の神社のおみくじ製造の七十%を占める山口県にある会社で、宮本重胤（しげたね）さんという、二所山田神社の

宮司さんが始められました。この方は明治十四年生まれで、本命は二黒土星、月命は四緑木星です。明治期の女性は、家長に従うことが当たり前。

その時代に宮本さんは、女性の地位向上を訴え、「女子道」という機関誌を発行します。ここでは料理のレシピや短歌などが掲載されていました。

また、女性神職の登用にも尽力されました。

國學院大學大学院で宮本神職の研究をされていた小林晃枝先生の論文「宮本重胤の『婦人神職任用論』に関する小考」によると、おみくじ製造を始めたのは、機関誌発行の資金捻出のためということですが、そもそも女性の力になろうと思っただけで、夢で神様から「女性の力になってあげなさい。」と言われてたことだそうです。

この方は父が早くに亡くなり、十五歳で実家の神社を継ぎました。祖母と母の手で育ち、本命が二黒であることから、女性と縁のある方ですね。おみくじにはこのような先人の思いもあるという

例をご紹介します。

### ◎おみくじと漢字

特に寺院のおみくじ（漢詩で書かれている）で、書かれている漢字と結びつく事柄を予想する方法があります。

例えば、神様は「柱や座」、仏様は「尊や体」という単位で呼びます。

この漢字が記載されていたら、神仏に關係する事柄が生じる。私事です。父が亡くなった年の初めに頂いた年みくじでは、「往」「享」とあり、「往く」（漢字は異なるが近くに関係すると解釈した）、「往生」「享年」に繋がっていると思えました。

### ◎おみくじの例題

鷲在山長國寺のおみくじの紹介です。こちらは漢詩で法華經の教えを説いたおみくじで、法華經御闡靈感籤（ほけきょうみくじれいかんせん）と言います。元三大師御籤は百番というキリの良い数であるのに対し、なぜ九十番なのでしょう？  
これは、『法華經見宝

塔品（けんほうとうほん）第十一』に説かれる偈文の「此經難持」というお經の漢字の文字が九十六文字であり、お經からできています。

（實際のおみくじ解説）

### 第八十九番 大吉

譬 二如貧窮人一  
往至親友家一  
其家甚大富  
具設諸餽饈

私が十一月のお西様で引いたもので、翌年の運勢を見えています。一句目を一〜三月の運勢、二句目を四〜六月の運勢と、句を三カ月に割り当ててみていきます。

### (一〜三月)

自分の力は弱い。出費有。他者の力を借りる事。

### (四〜六月)

友人・家族との行動で運が開ける。「往至親」で逝去した親に関する事柄が出る。供養・墓など。

### (七〜九月)

家が富む。衣食住に関する事柄。「家」の文字が二句三句と重複するので、家（良の意）を強調。  
(十〜十二月)

「具設備」で家の設備を修繕する可能性有。

まとめると、自分一人では十分ではないことを戒める内容だが、協力者がいれば運が開けるといいう解釈をしました。

また、おみくじは、引いた方の年齢によって注目する時期があることも重要です。例えば学生は、二句目、三句目に注目しています。

新学期が始まる四月

(二句目)にモチベーションを阻害するものが無い

か、ゴールデンウィーク明けの五〜六月に注意を暗示するものがないか、勉強の内容が上半期に比較して難しくなる九〜十月 (三句目) はどうか。

注意だけでなく、良い内容も示されるので、その部分を生かし、良い方向にもっていけたらと思います。



## 第三部

### 「令和五年の回顧」

福田有宵先生よりご講演をいただきました。

以下、福田先生のお話  
今年も有宵会の開催と会報の発行を無事行うことができました。

これも講師の先生方、議事録担当、編集担当、その他担当の方々のご協力のおかげです。ありがとうございました。

### 【国内外情勢】

今年の海外情勢では、ウクライナの行方、十月のハマスによるイスラエル攻撃があり、二つの戦争の問題があります。人間の歴史は戦争と平和の繰り返しであり、愚かなことでもあります。

注意だけでなく、良い内容も示されるので、その部分を生かし、良い方向にもっていけたらと思います。

### ◎ミャンマー内戦問題

#### 雷地予六二

クアデータを起こした軍隊（現在の政府）が権力を維持し、一旦落ち着くまでこの状況が四〜五年続きます。そのため、現在は内戦の終結はないと思われま

### ◎日本の物価問題

#### 風天小蓄上九

交辞には、「既に雨ふり、既にとどまる。君子往けば凶。」とあり、物価は頭打ち。現在の経過としては、一部の物価は値上がりが続くが、おおよその物価は高止まりし、一旦落ち着くというところ。

また、円安が続いて問題となっていますが、円安が続くかどうかでは、火沢睽六三です。

六三は、人の頭髮や、鼻が切られるという刑罰を受ける意味合いの交辞となっています。

円安問題を占って、何故こんな乱暴な卦を得たのでしょうか？

日銀は渋味状態で、現状を変えることを良しとしていません。株価暴落など大きな急変があれば、為替の操作をすることになります。

現状では手を出さない。火沢睽六三を得ているので、様子を見るしかない。現段階では、日本側から手を打つことはないと見ます。

では日銀が今後、金融政策の修正を行うかでは、沢天夫上六を得ました。



文辞には、「號う無し。終に凶有り。」とあり、大声を出して呼んでも答えない。  
上六は、そろそろ答えを出さないとならない時期に来ているところですが、日銀は「修正をしたくない。嫌だ。」と言っているわけですね。

### ◎エルジービーター (UGBT)

エルジービーターの方々が法律を変えるための努力をしています。最高裁においては、手術を必要とした性別変更

について違憲判断がされました。

その皆さんの存在の意義、また、生きていくためにどうしたら良いか。という社会の動きがあります。

私達がこの方々のご相談を受けた際にどのような対応できるか。また、どうあるべきか。占いは人間味のあるものです。今後考えていく必要がありますね。

### ◎旧統一教会について

山沢損九二  
文辞には、「貞に利し。

往けば凶。」とあります。被害の救済が与えられるかが問題です。山沢損の卦を得たので、救済に入る動きが見られます。

ただし、十分ではないでしょう。救済に入るまでに時間がかかり、一部救済はできるが、全部はできないと見ます。

### ◎温暖化問題

地球の海水温度が上がっており、海洋環境や台風に影響を及ぼしています。自然は人間が制御できないものです。占いは先を見て、為になる要件を作りたいたいわけですが、自然災害に対しては事前には手を打てず、被害を受けてから、その対処をするに留まってしまう。人間の知恵がまだまだ及ばないところであり、課題であります。

### ◎明治神宮外苑の再開

#### 火沢睽上九

ユネスコの諮問機関であるイコモスが再開発に対して中止を求め、東京都と事業者が警告の文書を送っています。卦は、この状態を表しています。

次に、都と事業者は木を切るのか(再開発を実行するのか)を笠し、地山謙の六五を得ました。都は政策上、低姿勢で臨んでいる。一時停滞する成り行きになるでしょうが、実行する気は十分ある。撤退という気持ちはなく、再開発という美名のもとに実行されるのではないか。また、現在は工事費(原材料の高騰)問題もありますね。

さらに卦を叩いてみます。「再開発をしたい」という事の基準卦は、山地剥になります。剥は木を削り取っていきこうとするものです。しかし、今回いただいた卦は地山謙です。これは易位生卦といって、山地剥の外卦の艮が、内卦に來た事によって、地山

謙になった訳です。良という形が再開発の要点になっています。

地山謙の六五の文辞には、「用いて侵伐するに利しきは、服せざるを征するなり。」とあります。大衆を説得する方針となるので、再開発を進めることでしょう。謙卦で時機を待っているところですよ。

菅原先生、八川先生、福田先生、貴重なお話をありがとうございました。

## 【NPO通信】

### ◎賛助金報告

次のかたがたより、有宵会活動への賛助を賜りました。

皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。  
令和六年一月二十日現在  
(敬称略・順不同)

- 今中正美 今中陽子 鬼頭祥寛 阿部治
- 慶峰 吉本真由美
- 川崎有紗 八川林加

\*賛助金を銀行振り込みでお送り頂いた場合は、掲載が遅れることがあります。何卒ご了承ください。

### ◎行事・活動報告

足立区勤労福祉会館様より、第十一回展覧会「わくわくきんぷくコミュニケーション広場」への出演依頼をいただき、有宵会では、有志の先生方を募り無料鑑定会を開催いたしました。

今回は、主催者様側でSNSやホームページ、紙の告知物などを駆使した積極的な応援をしてくださった効果で、想定を超えるご来場者があり、やむなくご入場制限をさせていただきました。それでも、就学前のお子様から熟年齢層のかたまで、様々な年齢層のかたのご縁をいただきました。

各鑑定会の振り返り詳細については、準備ができた次第、例会にてご報告をしたいと考えております。

◆日時／令和五年

十一月二十五日(土)  
第十一回展覧会「わくわくきんぷくコミュニティ広場」鑑定会  
・場所／足立区勤労福祉会館 第三洋室

・鑑定人数 一〇七名  
・出演者 八名  
・会場運営 二名

(敬称略・順不同)  
(出演者)  
福田有宵 泰山林翰  
秀和仙宵 慶峰

岩崎杏泉 金原玄周  
宮田麻有 八川林加  
(会場運営)  
鬼頭祥寛 阿部治

令和五年の締めくくりとして、福田有宵先生と有志が集い、検見川神社様の大晦日大祓祈願に参加をいたしました。年末年始の境内は、「竹あかり」作家様の光の展示作品による演出があり、夕方になると境内は幻想的な世界が広がっていました。

◆日時／令和五年

十二月三十一日(日)  
検見川神社様 大晦日大祓祈願  
・場所／検見川神社様 (千葉市花見川区)  
・参加者 十八名

(敬称略・順不同)  
(参加者)  
福田有宵 佐藤宗眩

岩崎杏泉 慶峰  
杉本侑穂 市原敬子  
他、有志の十二名

毎年恒例となりました岩槻大師様でのお正月鑑定会は、五名の先生がたにご尽力をいただきました。また、期間中にご来場者様からいただいた鑑定会金は、全額を岩槻大師様に志納させていただきました。

◆日時／令和六年

一月一日〜一月三日岩槻大師様 奉仕鑑定会  
・場所／さいたま市岩槻区本町 光光山釈迦院岩槻大師彌勒寺内  
・鑑定人数 五十一名  
・出演者 五名

(出演者) (敬称略)  
一日：佐藤宗眩  
アクアマラム

二日：杉本侑穂  
南亜希  
三日：佐藤宗眩  
岩崎杏泉

◎次回・行事予定

《鑑定会情報》

◇江東区東大島文化センター様主催 体験教室「スプリングサンデー」  
占いコーナー(無料)  
・日程／令和六年二月十一日(日) 建国記念の日  
・場所／東大島文化センター  
二階第五研修室  
(都営地下鉄新宿線「東大島」駅 大島口出口より徒歩五分)

\*会員からのお問合せは、佐藤宗眩先生まで  
◇江東区総合区民センター様主催  
(仮称)「ら・館まつり」占いコーナー  
・日程／令和六年三月三日(日)  
・場所／江東区総合区民センター  
(都営地下鉄新宿線「西大島」駅 A4出口より徒歩一分)  
\*会員からのお問合せは、佐藤宗眩先生まで

◇まつど活動サポートセンター様主催「こどもは、みらい。みらいフェスタ2024」占いコーナー(無料)  
・日程／令和六年三月二十三日(土)  
・場所／松戸中央公園  
(松戸市岩瀬四八七〜一/JR・新京成電鉄松戸駅から徒歩六分)  
\*会員からのお問合せは、濱野延珠先生まで。

三月三日(日)  
・場所／江東区総合区民センター  
(都営地下鉄新宿線「西大島」駅 A4出口より徒歩一分)

・集合時間 十三時  
・集合場所 検見川神社様 社務所前  
・祈願開始 十四時  
(予定)  
・初穂料 三千元  
※参加費(初穂料)は、基本的に、おひとり毎に、三千元が必要です。

※初参りは自由参加です。ご参加を希望されるかたは、集合前までに、ご祈願申込書にご記入のうえ、お集まりください。  
※ご参加人数によっては、拝殿でのご祈禱開始が十四時を過ぎる可能性があります。お時間に余裕をもつてご参加ください。(現地集合・解散)。  
※直会は予定しておりません。お食事は、各自でお済ませください。

◇まつど活動サポートセンター様主催「こどもは、みらい。みらいフェスタ2024」占いコーナー(無料)  
・日程／令和六年三月二十三日(土)  
・場所／松戸中央公園  
(松戸市岩瀬四八七〜一/JR・新京成電鉄松戸駅から徒歩六分)  
\*会員からのお問合せは、濱野延珠先生まで。

◇江東区総合区民センター様主催  
(仮称)「ら・館まつり」占いコーナー  
・日程／令和六年三月三日(日)  
・場所／江東区総合区民センター  
(都営地下鉄新宿線「西大島」駅 A4出口より徒歩一分)  
\*会員からのお問合せは、佐藤宗眩先生まで

◇江東区総合区民センター様主催  
(仮称)「ら・館まつり」占いコーナー  
・日程／令和六年三月三日(日)  
・場所／江東区総合区民センター  
(都営地下鉄新宿線「西大島」駅 A4出口より徒歩一分)  
\*会員からのお問合せは、佐藤宗眩先生まで

◆次回の例会情報◆  
日程／令和六年三月三十日(土)  
午後一時〜五時  
会場／足立区勤労福祉会館プルミエ第二洋室  
(千代田線 綾瀬駅西口 徒歩三分)

\*今後、例会およびイベント内容は、直前に変更・中止となる場合がございます。ご了承ください。

◆令和五年十一月例会参加者  
十一月度は、四十九名のかたがご参加をされました。また、会の終了後は、有志の二十四名が集い、懇親会を開催いたしました。

事務局長 八川林加

事務局長 八川林加

事務局長 八川林加

